S. C. & V. Bala 1979. *In* S. S. Bir (ed): Recent researches in plant sciences (Kalyani Pub., New Delhi), 237-243.

* * * *

ノキシノブの2倍体，4倍体，高4倍体の配偶体の自配受精能(単独で受精し，胞子体を形成する能力)を比較するために，受精実験を行い，次の結果を得た。自配受精率は4倍体(4株)ではほぼ100%，高4倍体(2株)では約30%前後であったが，2倍体(4株)は1株が4%であったのを除いて，あとは自配受精による胞子体形成が全く見られなかった。ただし，2倍体のばあい，株内かけ合わせと株間かけ合わせをさせると，5〜20%の配偶体が胞子体を形成した。2倍体と4倍体の自配受精率に大きな差をもたらす要因としていくつか考えられるが，2倍体のばあい，胞子体の遺伝的荷重が高く，かつ配偶体が受精と胚発生にあたって何らかの生理的，生態的に特殊な条件を必要とするのではないかと推定される。これに対し，4倍体は胞子体の遺伝的荷重が低く，配偶体も受精と胚発生にあたってそれほど特殊な条件を必要としないのではないかと推定される。2倍体と4倍体との間に自配受精能に大きな差があることを認めたのは，ゲジゲジシダ(益山1979, 1986)に次いで2度目である。このような差異は，2倍体が比較的限られた範囲に分布し，4倍体が比較的広範囲に分布することとも関連しているものと思われる。

□たくぎん総合研究所（伊藤浩司・日野間彰 編著）：**環境アセスメントのための北海道高等植物目録IV 合弁花植物** 244 pp. 1987. たくぎん総合研究所（札幌市中央区大通西3-6 道新ビル）. ¥7,000. 1985年にIとしてシダ植物・裸子植物が刊行されている。電算機により学名，和名を整理して示してあり，この種のデータ処理のむずかしさを知る者として最大限の敬意を表したい。産地は支庁単位である。巻末にデータベースからの出力例として，ラインプリンタによる分布図が示されており，この目録に表示された以外の詳細なデータが蓄積されているようであるので，ノウハウが披露されれば，他地域での仕事に有効な手本となるだろう。続刊を期待する。（金井弘夫）

□志村義雄：**富士山のシダ** 132 pp. 1987. 静岡新聞社，静岡. ¥3,000. 静岡県の植物特にシダを長年研究している著者が，わが庭木のように可愛がっている富士山のシダをまとめたもの。自生のシダ213種と38雑種の目録に，各種ごとの産地・分布などの記事があるほか，別項で分類上・分布上・生態上興味ある種についての解説がある。標本および生態の写真90個があってわかりやすい。その他富士山のシダの垂直分布，南面と北面の比較，文献など。特産のスルガイノデは今までアスカイノデの変種とされていたが，今回種に上げられた。発売元は静岡市登呂3-1-1 静岡新聞社出版局。（伊藤　洋）